

平成28年度勤務状況調査結果

(調査期間：平成28年6月1日～6月30日)

埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課

目 次

1	勤務状況調査の概要	
(1)	調査の目的	1
(2)	調査対象校および調査対象者	1
(3)	調査期間	1
(4)	調査項目	1
(5)	回収結果	1
2	調査結果の概要	
(1)	職種別勤務時間を除く在校時間の1日あたりの平均	3
(2)	勤務時間を除く在校時間に行った業務の割合	3
3	調査結果	
(1)	国の調査との比較	4
(2)	項目別勤務時間を除く在校時間の平均(1日あたり)	4
(3)	校種別勤務時間を除く在校時間の分布	10
4	職位別調査結果	
(1)	校長	11
(2)	教頭	13
(3)	主幹教諭	15
(4)	教諭等	17
(5)	養護教諭等	24
(6)	栄養教諭	26
(7)	事務職員	28
(8)	学校栄養職員	30
5	おわりに	32

1 勤務状況調査の概要

(1) 調査の目的

教職員の勤務状況を把握し、今後の負担軽減の取組の参考とする。

(2) 調査対象校および調査対象者

① 調査対象校

各市町村において、小学校1校、中学校1校を無作為に抽出。

(小学校62校、中学校62校、計124校)

② 調査対象者

・対象校(小学校62校、中学校62校)に在籍する常勤教職員3004名

※調査対象期間の全期間を在職し、かつ勤務実績のあった教職員とする。

※県費負担教職員に限る。

※臨時的任用教職員を含む。

・調査対象の職種

校長、教頭、主幹教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、事務職員、学校栄養職員

(3) 調査期間

平成28年6月1日から平成28年6月30日

(4) 調査項目

- ・職名、勤続年数、性別、年代、担任等
- ・勤務時間を除く在校時間
- ・勤務時間を除く在校時間に行っていた主な業務内容

(5) 回収結果

学校種	人数
小学校	1347
中学校	1657
計	3004

職名	校長	教頭	主幹教諭	教諭等	養護教諭等	栄養教諭	事務職員	学校栄養職員	計
小学校	62	63	13	1064	61	13	64	7	1347
中学校	62	63	32	1353	62	11	70	4	1657

※教諭等とは、教諭、助教諭、講師である。

※養護教諭等とは、養護教諭、養護助教諭である

		項目	人数
性別		男性	1 5 4 8
		女性	1 4 5 6
年代		1 0 代	1
		2 0 代	8 0 8
		3 0 代	6 8 5
		4 0 代	4 4 8
		5 0 代	9 3 1
		6 0 代	1 3 1
担任等	小学校	1 学年担任	1 3 6
		2 学年担任	1 3 4
		3 学年担任	1 2 2
		4 学年担任	1 2 0
		5 学年担任	1 2 7
		6 学年担任	1 2 6
		特別支援学級担任	7 9
		担任外 (内教諭等)	5 0 2 (2 2 0)
	中学校	1 学年担任	2 4 4
		2 学年担任	2 4 5
		3 学年担任	2 3 9
		特別支援学級担任	8 5
		担任外 (内教諭等)	8 4 5 (5 4 0)
勤続年数		1 ～ 5	6 7 7
		6 ～ 1 0	4 3 4
		1 1 ～ 1 5	2 7 1
		1 6 ～ 2 0	6 4
		2 1 ～ 2 5	1 7 7
		2 6 ～ 3 0	2 3 7
		3 1 ～ 3 5	3 9 5
		3 6 ～ 4 0	2 0 0
再任用			1 3 1

※ 本調査における構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

2 調査結果の概要

(1) 職種別勤務時間を除く在校時間の1日あたりの平均

- ・ 校種の平均は、小学校では2時間48分、中学校では3時間2分で、中学校が14分長い。
- ・ 在校時間が長い職として、小中学校ともに、長い順に教頭、主幹教諭、教諭等、校長、養護教諭等、栄養教諭である。

	小学校	中学校
校長	2時間26分	2時間46分
教頭	3時間45分	4時間 1分
主幹教諭	3時間42分	3時間21分
教諭等	2時間57分	3時間10分
養護教諭等	1時間51分	1時間58分
栄養教諭	1時間41分	1時間26分
事務職員	1時間 0分	1時間 4分
学校栄養職員	1時間18分	50分
平均	2時間48分	3時間 2分

- ・ 男性は女性よりも、勤務時間を除く在校時間が、小学校では28分、中学校では32分長い。
- ・ 小中学校ともに、「50代」を除き、全体的に年代が高くなるにつれ、勤務時間を除く在校時間が短くなる。
- ・ 若手の教職員ほど、勤務時間を除く在校時間が長く、「10代、20代」では、小学校教職員は3時間17分、「20代」の中学校教職員は、3時間43分である。

(2) 勤務時間を除く在校時間に行った業務の割合

- ・ 校長、教頭については、小中学校ともに、「学校経営、学校運営」が80%程度である。
- ・ 小学校教諭等で、最も割合が多いのが、「授業準備」(44.2%)で、続いて、「学級経営」(25.6%)、「校務分掌」(14.5%)となる。3つを合わせると、84.3%である。
- ・ 中学校教諭等で、最も割合が多いのが、「授業準備」(32.2%)で、続いて、「部活動指導」(24.7%)、「校務分掌」(12.3%)となる。3つを合わせると、69.2%である。

3 調査結果

(1) 国の調査との比較

小学校において、校長、教諭等については、違いはあまり見られないが、教頭、事務職員において、30分程度埼玉県の方が勤務時間を除く在校時間が短い。

中学校において、校長については、違いはあまり見られないが、教頭、教諭等、事務職員については、20分～30分程度、埼玉県の方が勤務時間を除く在校時間が短い。

	小学校		中学校	
	埼玉県	国	埼玉県	国
校長	10:56	11:00	11:16	11:17
副校長・教頭	12:15	12:50	12:31	12:53
教諭等	11:27	11:35	11:40	12:06
事務職員	9:30	9:56	9:34	9:56

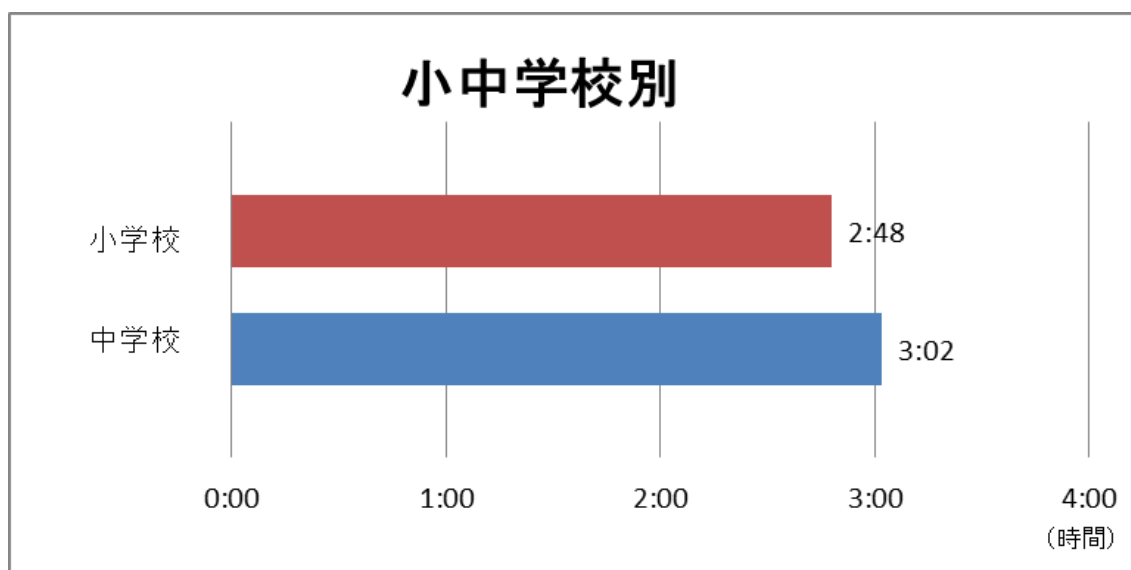
※ 埼玉県については、「勤務時間を除く在校時間」の「一日平均」に8時間30分を加えた数値。

※ 国については、「平成26年度 文部科学省 学校と教職員の業務実態の把握に関する調査研究」の平日1日あたりの勤務時間を除く平均在校時間（概算値）

(2) 項目別勤務時間を除く在校時間の平均（1日あたり）

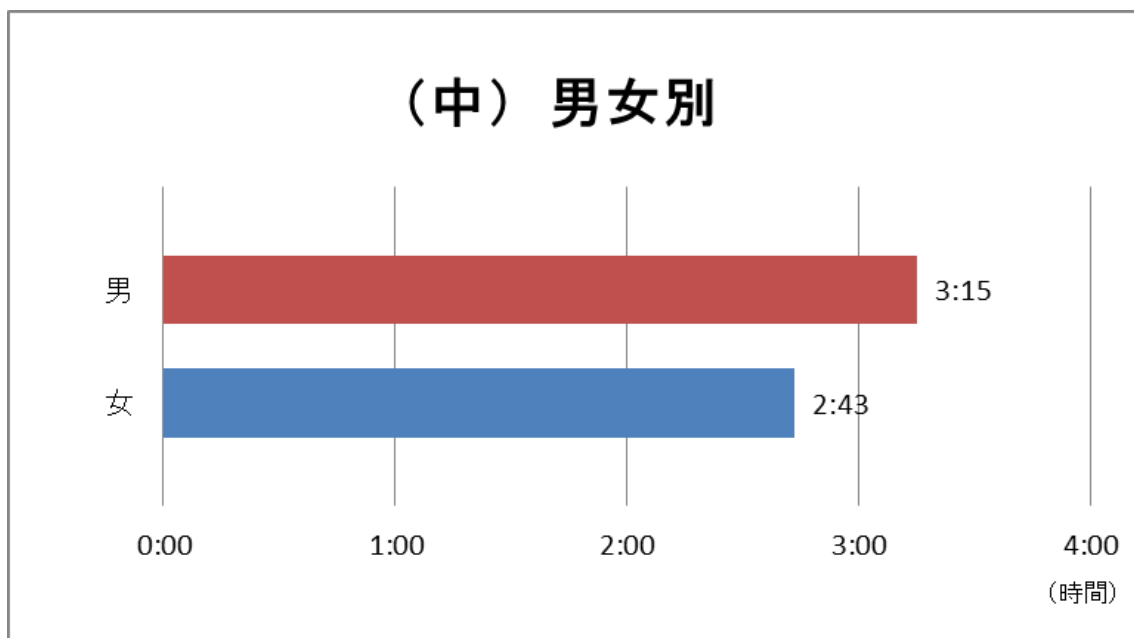
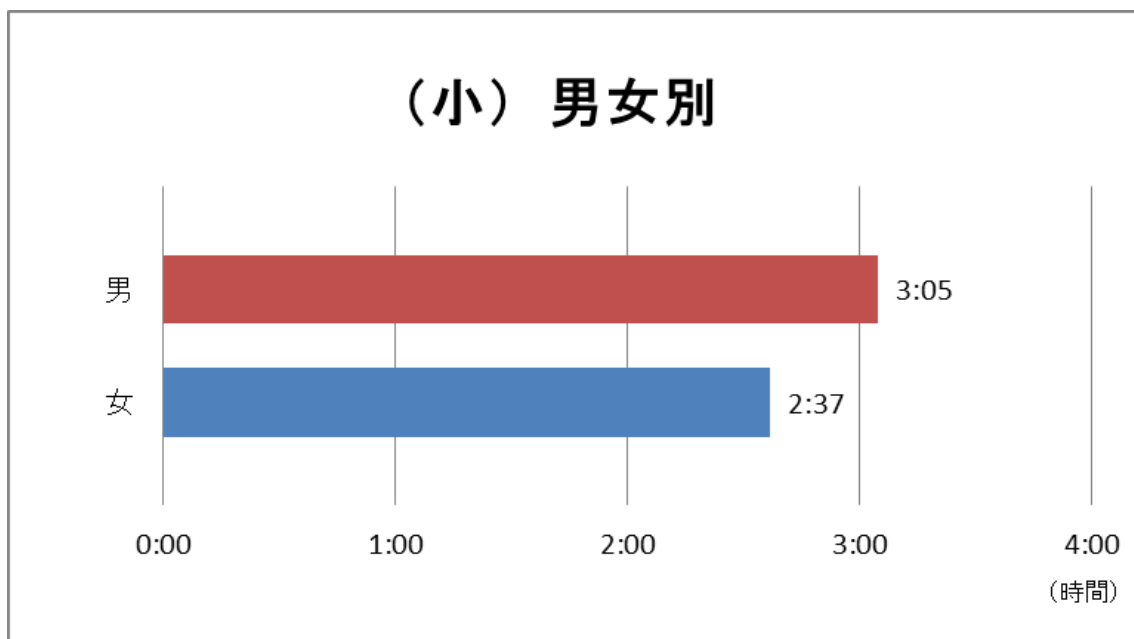
① 小中学校別

小学校の教職員が、中学校の教職員に比べて、勤務時間を除く在校時間が14分短い。



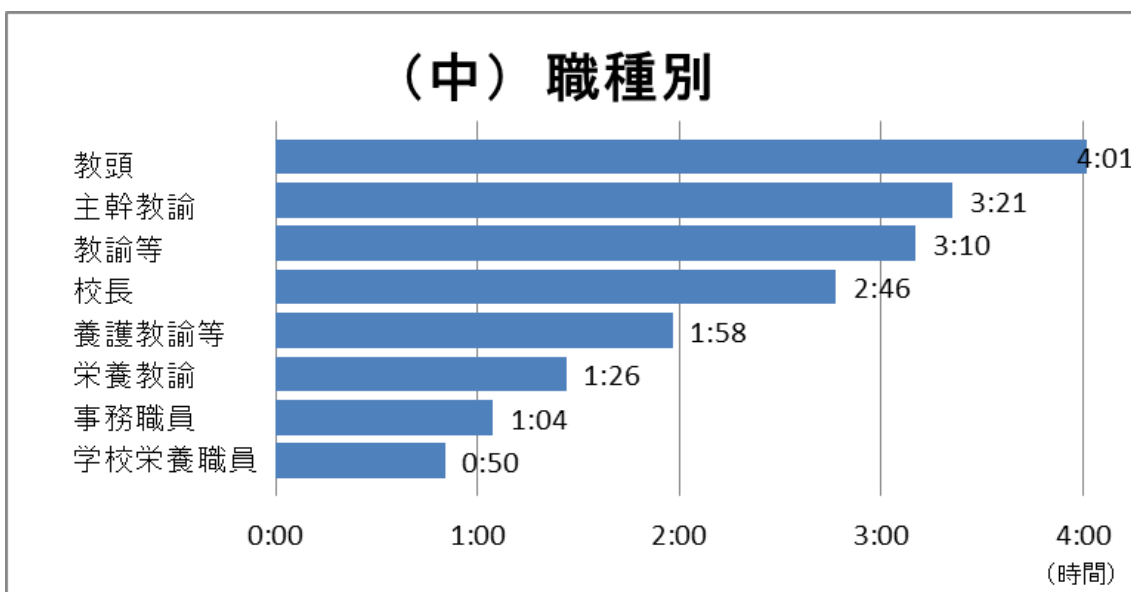
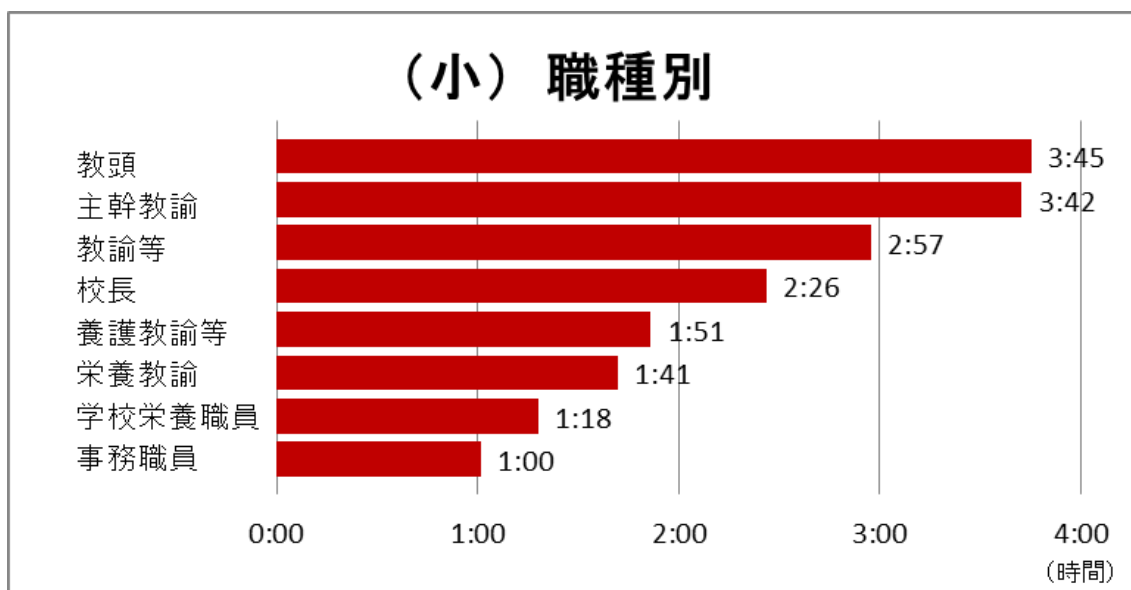
② 男女別

- ・ 男性は女性よりも、勤務時間を除く在校時間が、小学校では28分、中学校では32分長い。
- ・ 勤務時間を除く在校時間が長い順は、中学校男性、小学校男性、中学校女性、小学校女性となっている。



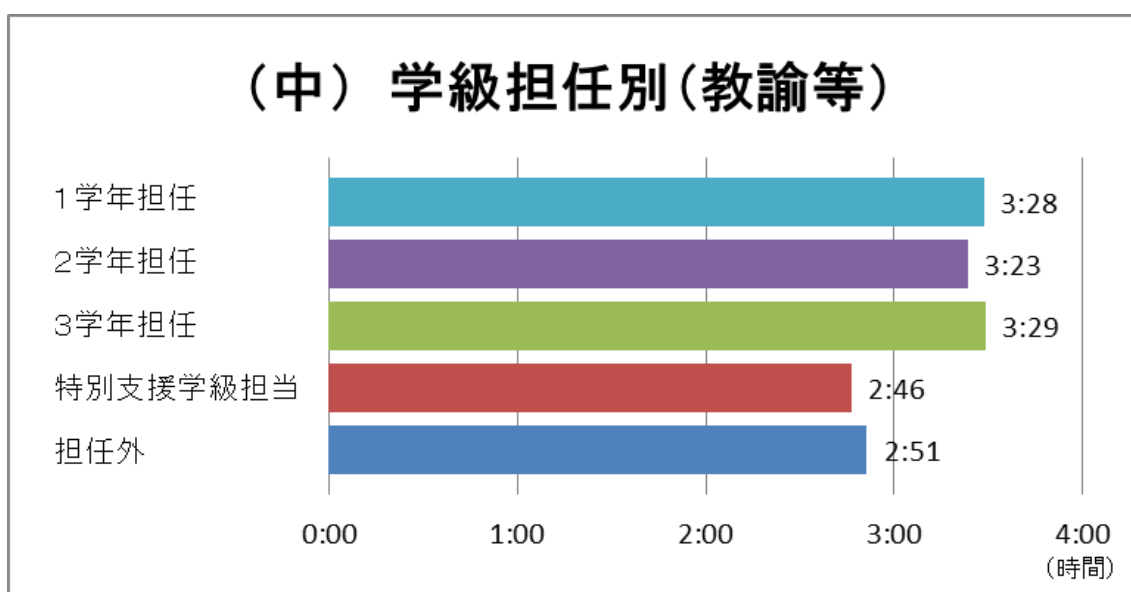
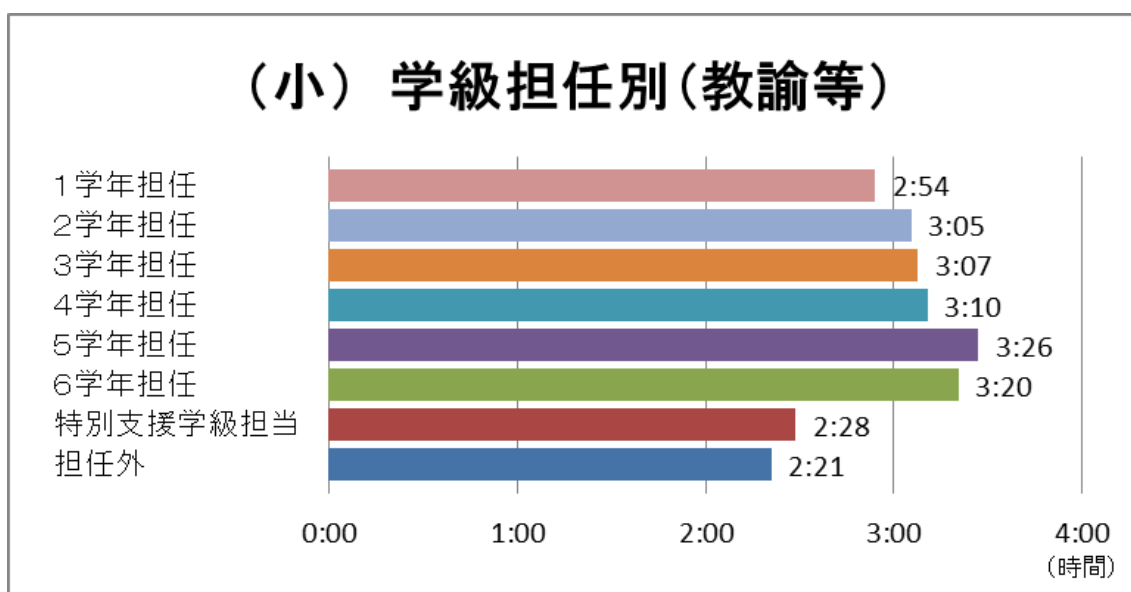
③ 職種別

- ・ 小中学校ともに、勤務時間を除く在校時間が長い順は教頭、主幹教諭、教諭等、校長、養護教諭等、栄養教諭となっている。
- ・ 小学校では、その後、学校栄養職員、事務職員となる。
- ・ 中学校では、その後、事務職員、学校栄養職員となる。
- ・ 勤務時間を除く在校時間が4時間を超えるのが、中学校教頭、3時間から4時間が小学校教頭、小学校主幹教諭、中学校主幹教諭、中学校教諭等、2時間から3時間が小学校教諭等、小学校校長、中学校校長である。



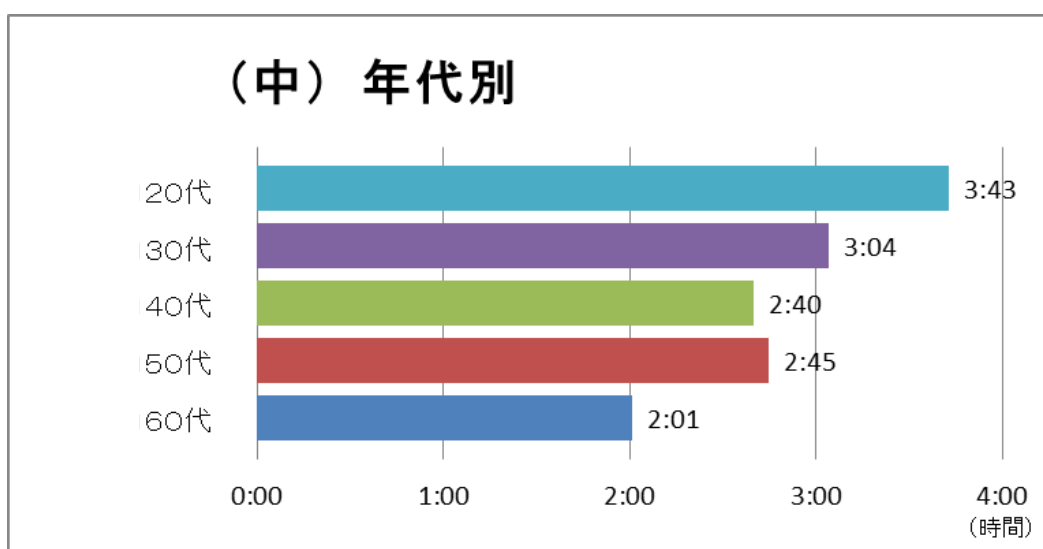
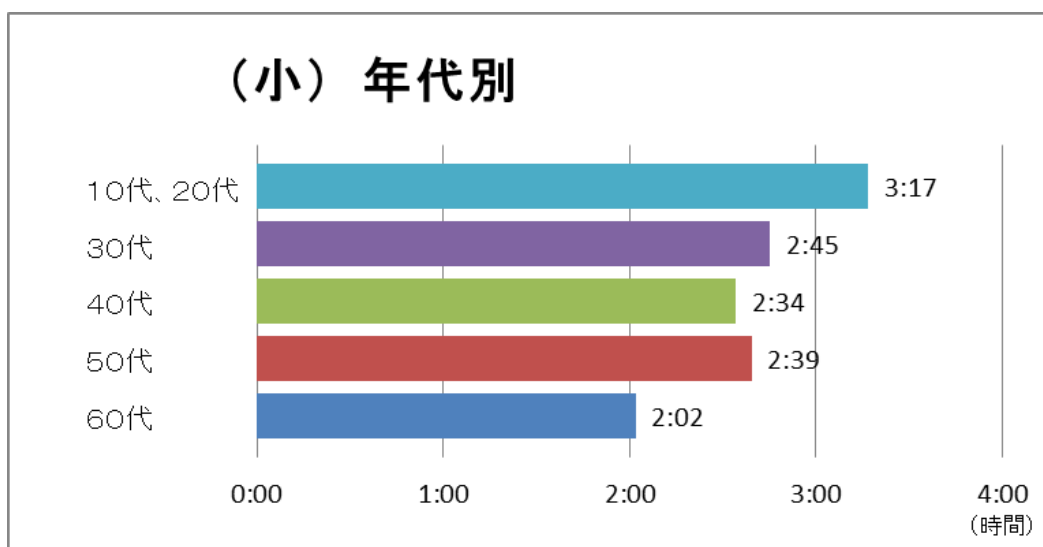
④ 学級担任別（教諭等）

- ・ 小中学校ともに、学級担任が勤務時間を除く在校時間が長い。
- ・ 小中学校ともに、特別支援学級担当と担任外が同じ程度の勤務時間を除く在校時間である。
- ・ 特別支援学級担当と担任外は他の学年の学級担任と比べると、小学校では50分程度、中学校では40分程度、勤務時間を除く在校時間が短い。
- ・ 小学校では、高学年担任が勤務時間を除く在校時間が長い。
- ・ 中学校では、1学年担任から3学年担任では、勤務時間を除く在校時間は大きな違いはない。



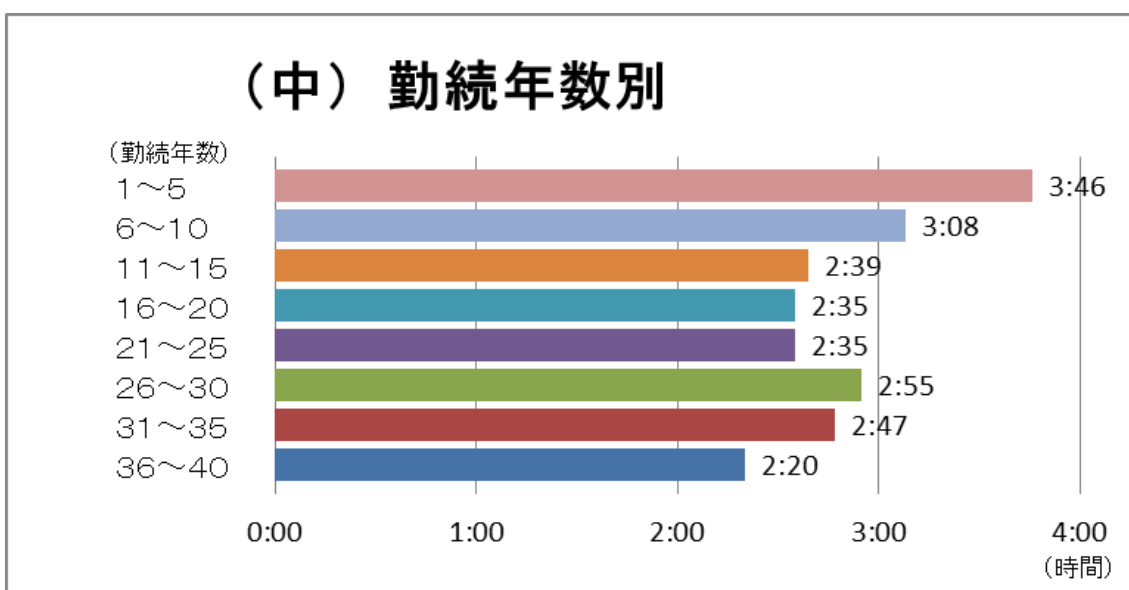
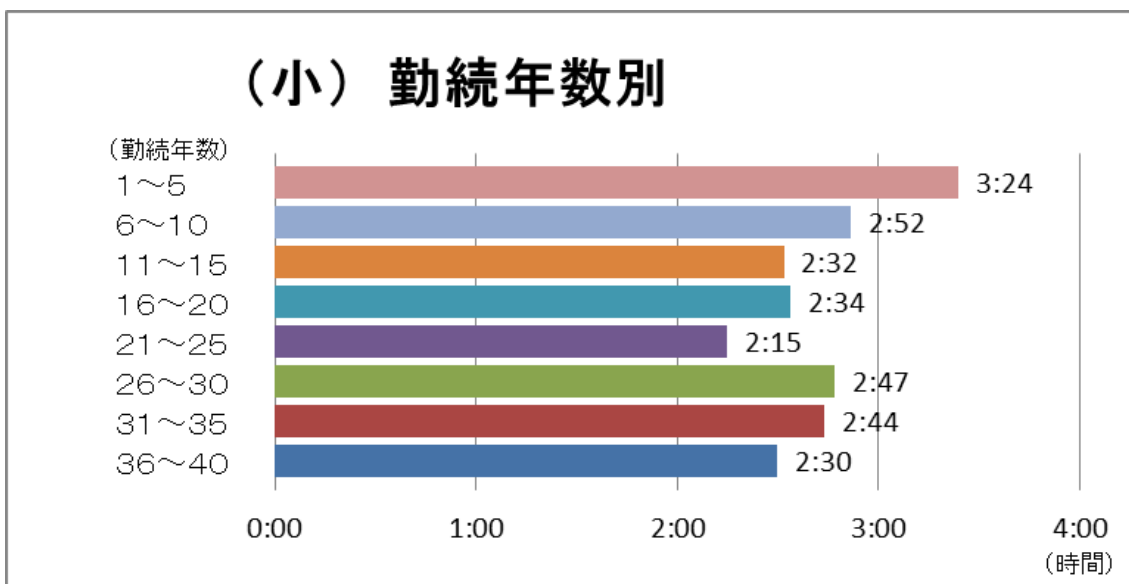
⑤ 年代別

- ・ 若手の教職員ほど、勤務時間を除く在校時間が長い。
- ・ 勤務時間を除く在校時間が最も長いのは、小学校では「10代、20代」、中学校では、「20代」である。その後、「40代」までは、勤務年数とともに勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。しかし、「50代」において、再び在校時間を除く勤務時間が増加している。その後、「60代」は、勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。
- ・ 小学校の「10代～20代」は「30代」と比べると、勤務時間を除く在校時間が32分、中学校の「20代」は「30代」と比べると、勤務時間を除く在校時間が39分長い。
- ・ 「60代」を除き、どの年代についても、小学校に比べ、中学校の方が勤務時間を除く在校時間が長い。



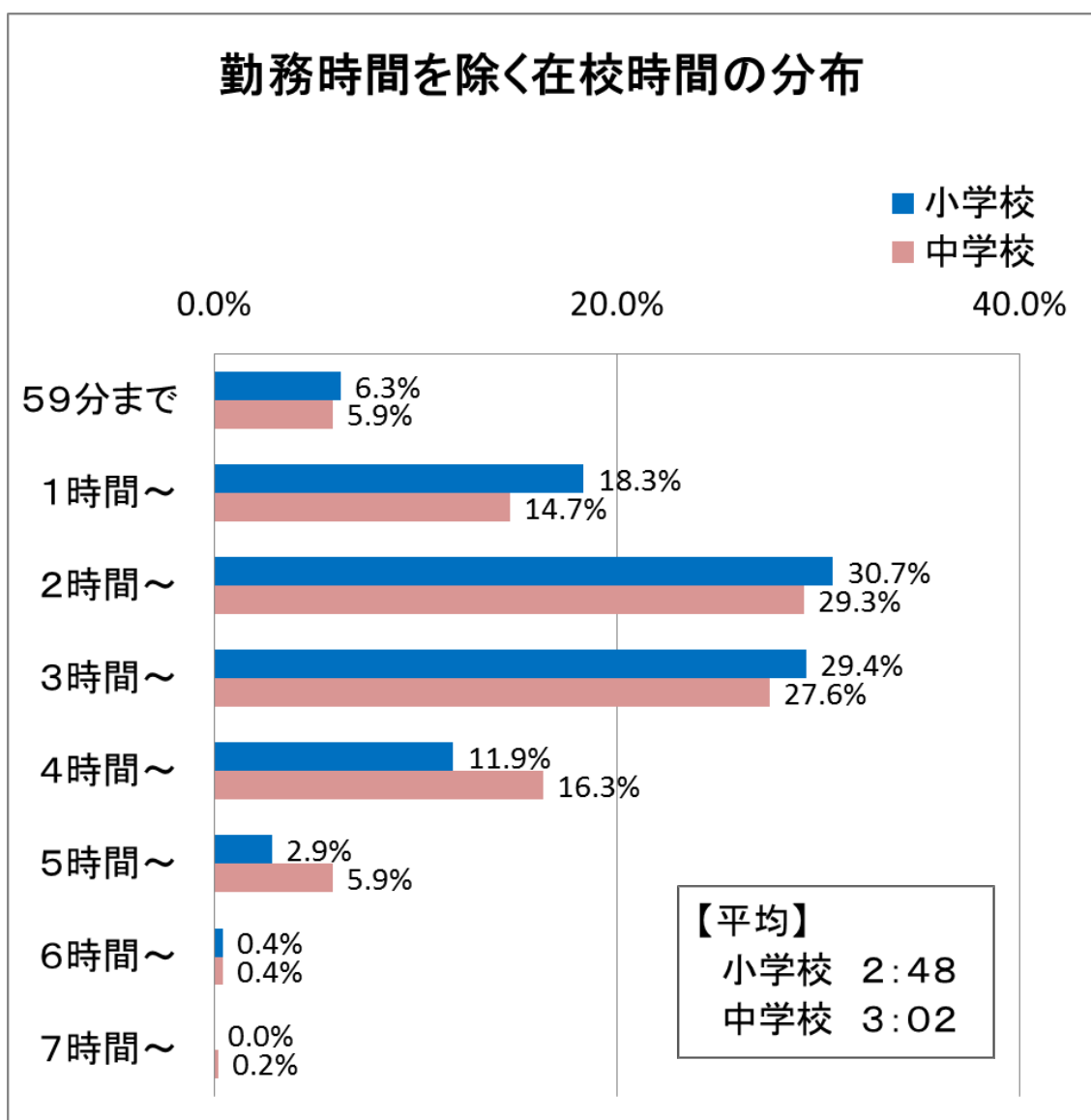
⑥ 勤続年数別

- ・ 小中学校とも、勤続年数「1～5」において、勤務時間を除く在校時間が最も長くなっている。その後、「16～20」までは、勤続年数とともに勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。しかし、「26～30」において、再び在校時間を除く勤務時間が増加している。その後、「36～40」までは、勤続年数とともに勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。
- ・ 中学校は、小学校と比べると、「36～40」を除いて、どの勤続年数においても、勤務時間を除く在校時間が長い。
- ・ 勤務時間を除く在校時間が3時間を超えるのは、小学校勤続年数「1～5」、中学校勤続年数「1～5」、中学校勤続年数「6～10」の教職員である。



(3) 校種別勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小中学校ともに、平均付近が分布が一番多く、平均から離れるにつれて緩やかに低くなっていく正規分布になっている。
- ・ 中学校が小学校に比べて、「4時間～」、「5時間～」の勤務時間を除く在校時間の割合が大きい。



4 職位別調査結果

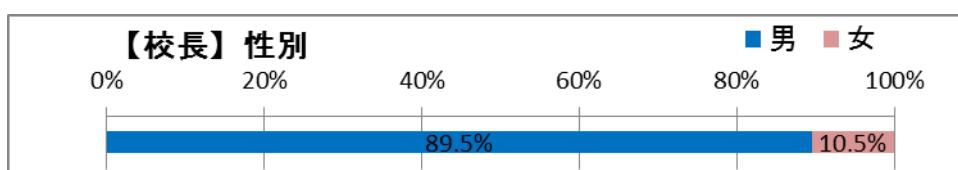
(1) 校長

① 調査対象者数

	男	女	計
小学校	52	10	62
中学校	59	3	62
計	111	13	124

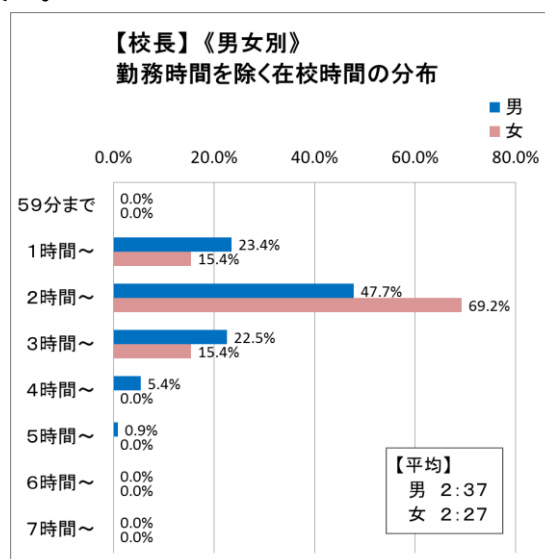
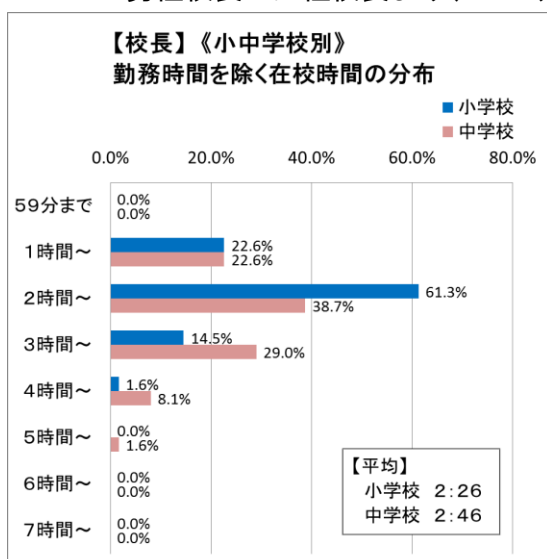
② 男女比

- ・ 校長の男女比は、男性89.5%、女性10.5%である。



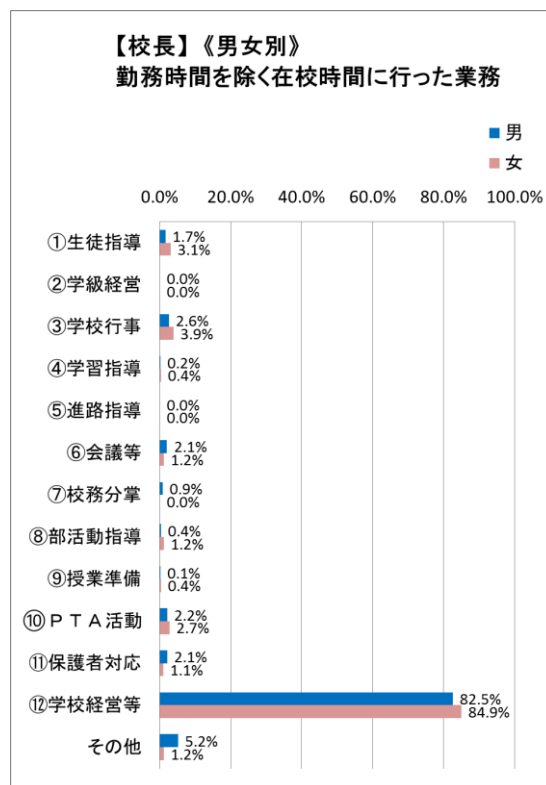
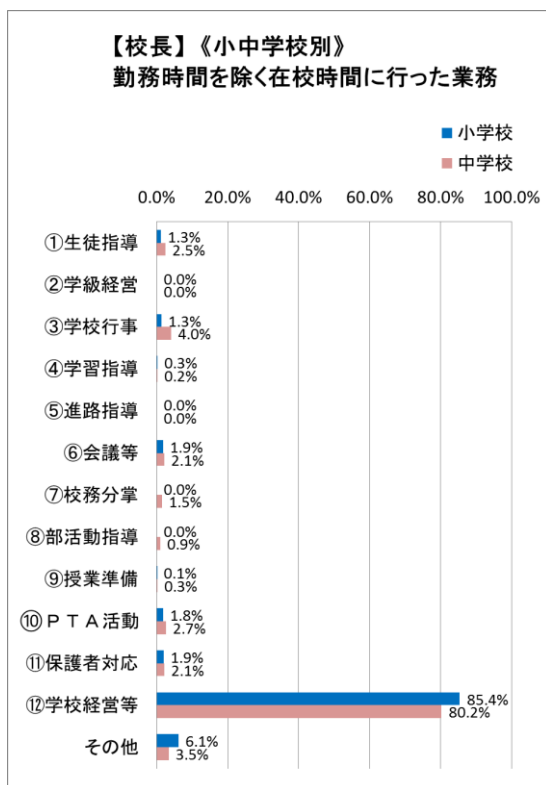
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校長で、最も割合が多いのが、「2時間～」、次に多いのが、「1時間～」、中学校長で、最も割合が多いのが、「2時間～」次に多いのが、「3時間～」である。
- ・ 校種別平均は、小学校長が2時間26分、中学校長が2時間46分であり、中学校長は小学校長より20分長い。
- ・ 男性校長で、最も割合が多いのが、「2時間～」、次に多いのが、「1時間～」、女性校長で、最も割合が多いのが、「2時間～」次に多いのが、「1時間～」、「3時間～」である。
- ・ 男女別平均は、男性校長が2時間37分、女性校長が2時間27分であり、男性校長が女性校長より、10分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校長、中学校長、男性校長、女性校長とも大きな違いはなく、最も割合が多いのが、「学校経営等」で、それぞれ80%を超えている。



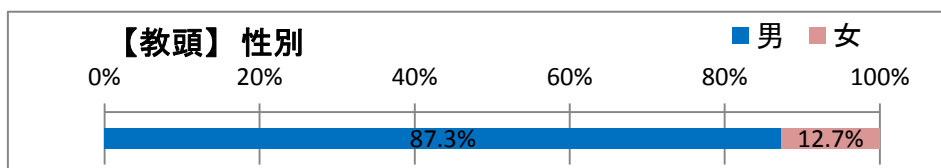
(2) 教頭

① 調査対象者数

	男	女	計
小学校	52	11	63
中学校	58	5	63
計	110	16	126

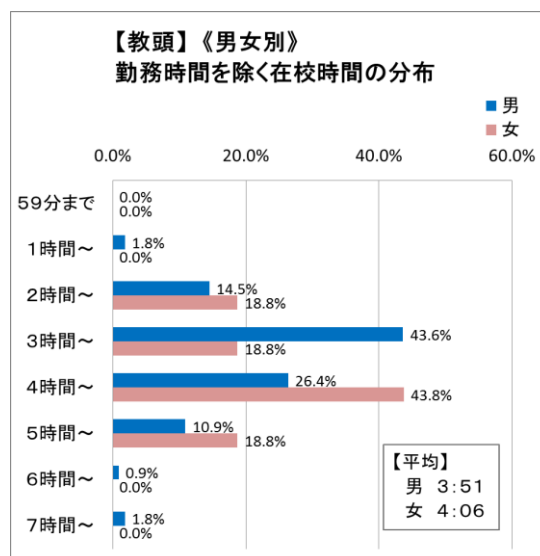
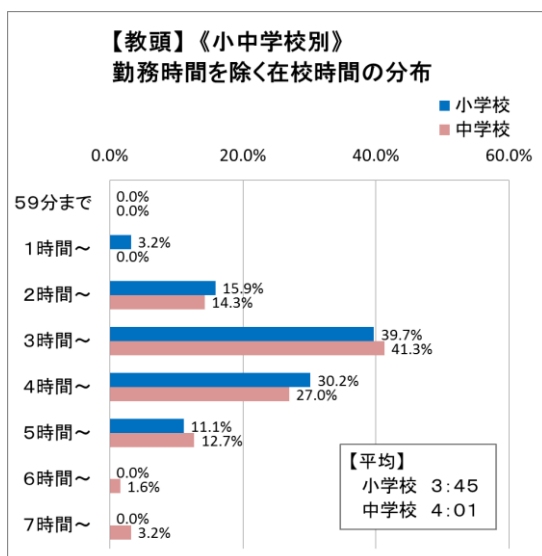
② 男女比

- ・ 教頭の男女比は、男性87.3%、女性12.7%である。



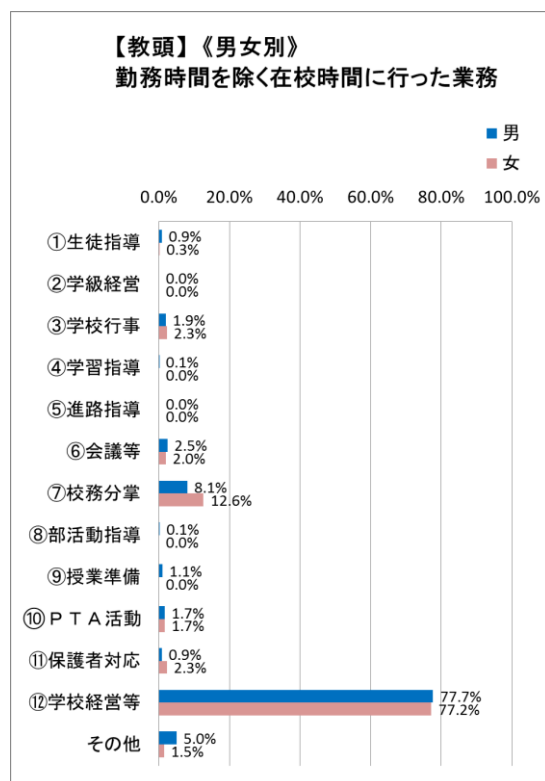
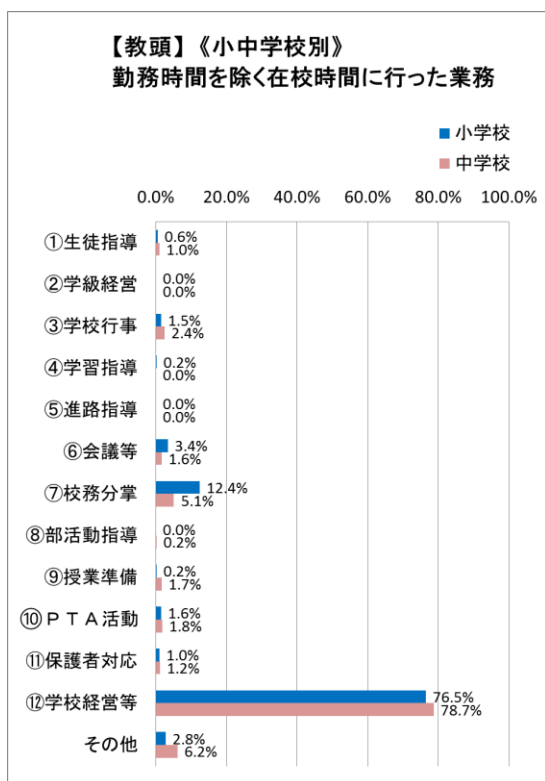
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校教頭、中学校教頭とも、最も割合が多いのが、「3時間～」、次に多いのが、「4時間～」である。
- ・ 校種別平均は、小学校教頭が3時間45分、中学校教頭が4時間1分であり、中学校教頭は小学校教頭より16分長い。
- ・ 男性教頭で、最も割合が多いのが、「3時間～」、次に多いのが、「4時間～」、女性教頭で、最も割合が多いのが、「4時間～」次に多いのが、「2時間～」、「3時間～」、「5時間～」である。
- ・ 男女別平均は、男性教頭が3時間51分、女性教頭が4時間6分である。女性教頭が男性教頭より平均が15分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校教頭、中学校教頭、男性教頭、女性教頭とも、大きな違いはなく、最も割合が多いのが、「学校経営等」で、すべて75%を超えている。



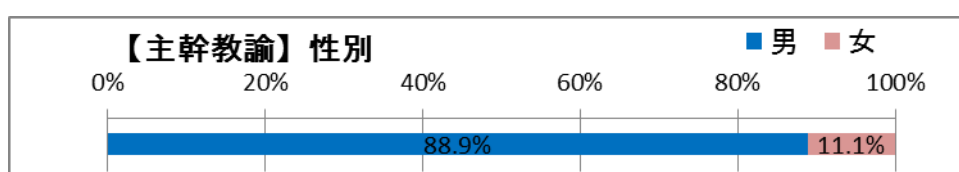
(3) 主幹教諭

① 調査対象者数

	男	女	計
小学校	11	2	13
中学校	29	3	32
計	40	5	45

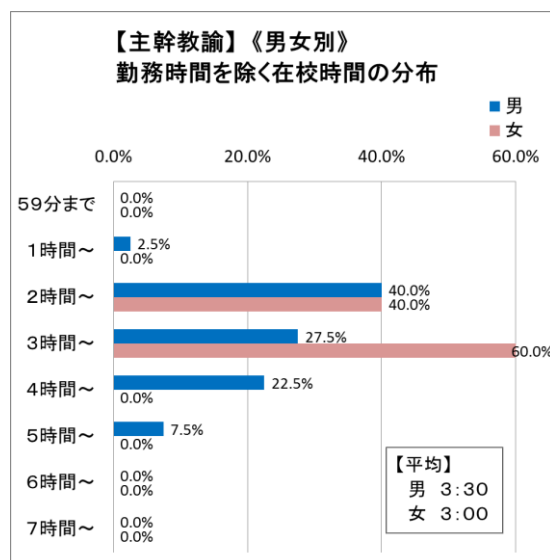
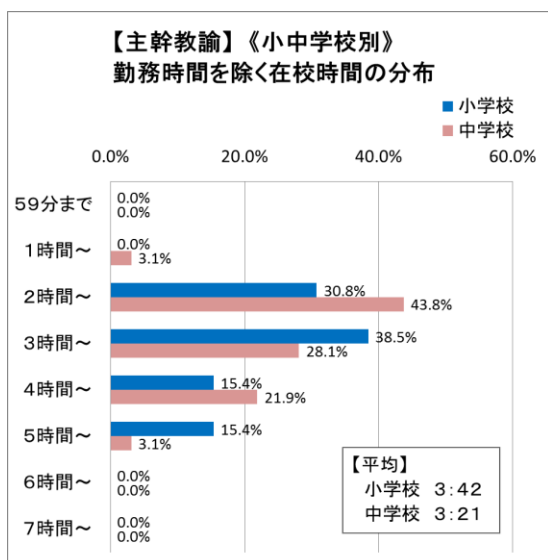
② 男女比

- ・ 主幹教諭の男女比は、男性88.9%、女性11.1%である。



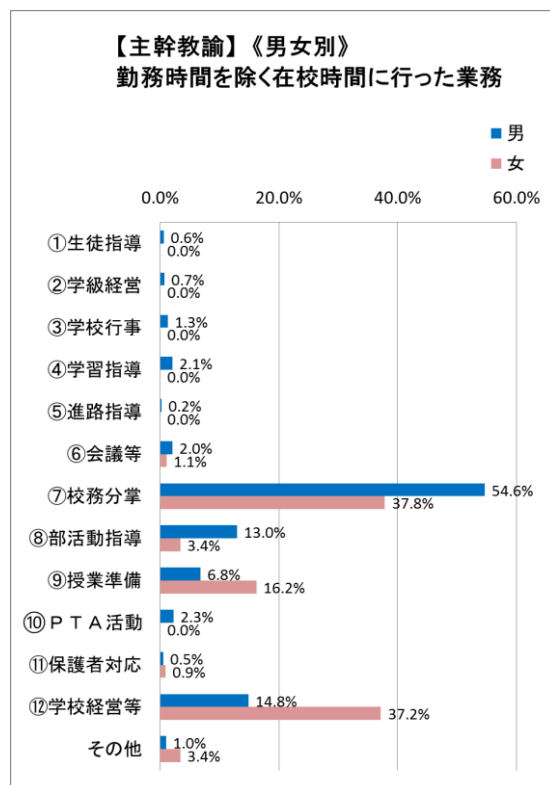
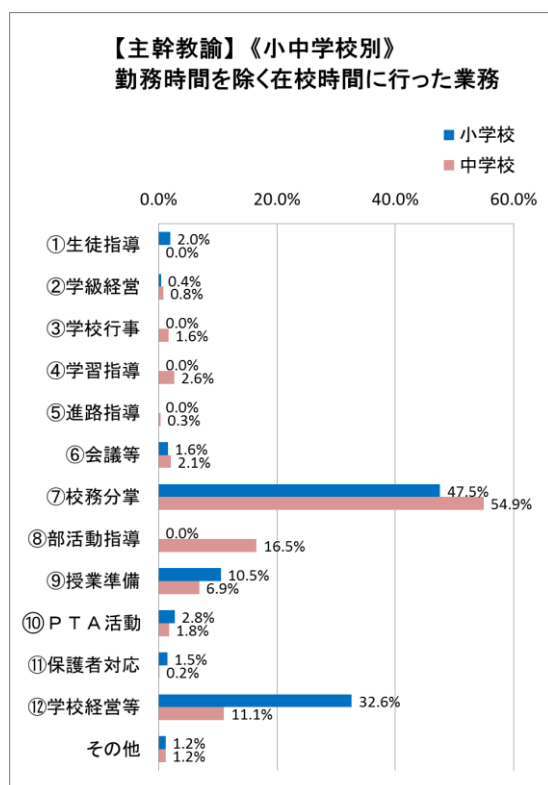
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校主幹教諭で、最も割合が多いのが、「3時間～」、次に多いのが、「2時間～」である。中学校主幹教諭で、最も割合が多いのが、「2時間～」、次に多いのが、「3時間～」である。
- ・ 校種別平均は、小学校主幹教諭が3時間42分、中学校主幹教諭が3時間21分であり、小学校主幹教諭は中学校主幹教諭より21分長い。
- ・ 男性主幹教諭で、最も割合が多いのが、「2時間～」、次に多いのが、「3時間～」、女性主幹教諭で、最も割合が多いのが、「3時間～」次に多いのが、「2時間～」である。
- ・ 男女別平均は、男性主幹教諭が3時間30分、女性主幹教諭が3時間0分である。男性主幹教諭が女性主幹教諭より平均が30分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校主幹教諭で、最も割合が多いのが、「校務分掌」で、次に多いのが、「学校経営等」で、合わせて80.1%を占める。中学校主幹教諭で、最も割合が多いのが、「校務分掌」で、次に多いのが、「部活動指導」である。
- ・ 男性主幹教諭で、最も割合が多いのが、「校務分掌」で54.6%、次に「部活動指導」、「授業準備」が続く。女性主幹教諭では、「校務分掌」、「学校経営等」の割合が多く、男女間に業務内容の違いが見られる。



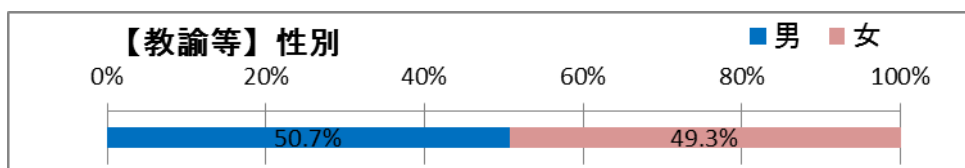
(4) 教諭等

① 調査対象者数

	男	女	計
小学校	405	659	1064
中学校	821	532	1353
計	1226	1191	2417

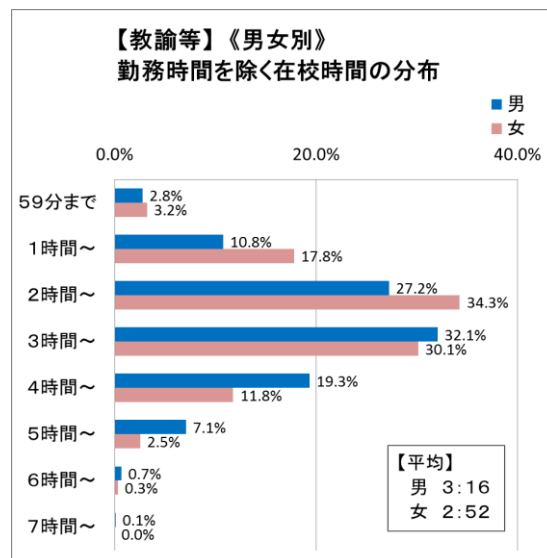
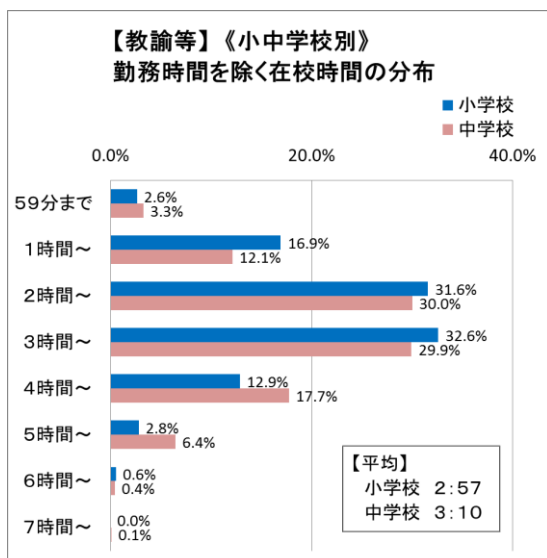
② 男女比

- ・ 教諭等の男女比は、男性50.7%、女性49.3%である。



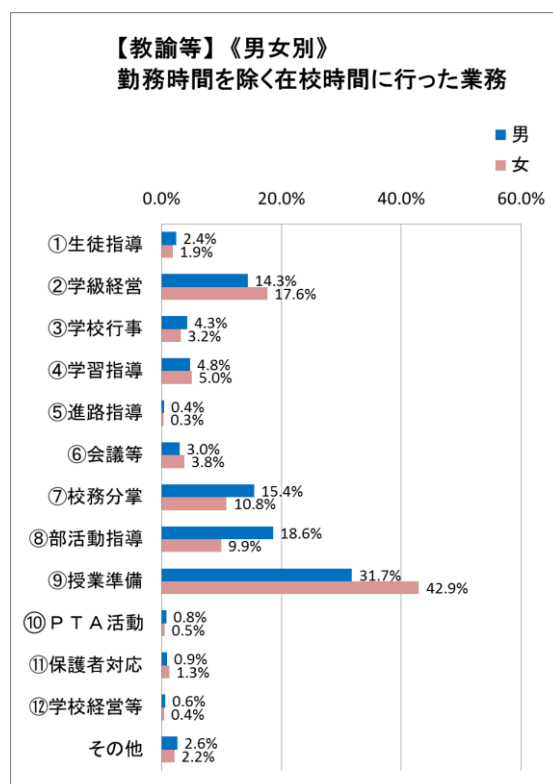
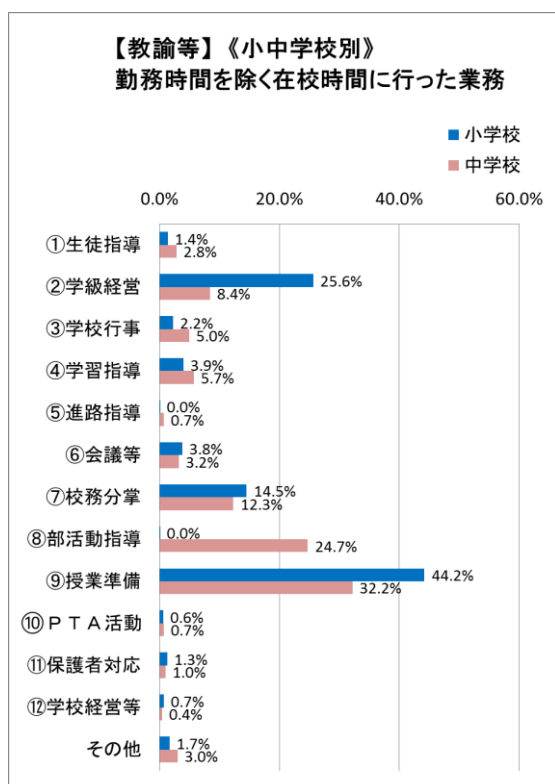
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校教諭等、中学校教諭等で、「2時間～」と「3時間～」がほぼ同じ割合であり、合わせて60%程度である。
- ・ 校種別平均は、小学校教諭等が2時間57分、中学校教諭等が3時間10分であり、中学校教諭等は小学校教諭等より13分長い。
- ・ 男性教諭等で、最も割合が多いのが、「3時間～」次に多いのが、「2時間～」、女性教諭等で、最も割合が多いのが、「2時間～」次に多いのが、「3時間～」である。
- ・ 男女別平均は、男性教諭等が3時間16分、女性教諭等が2時間52分である。男性教諭等が女性教諭等より平均が24分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校教諭等で、最も割合が多いのが、「授業準備」で、44.2%を占める。次に多いのが、「学級経営」で「校務分掌」と続く。中学校教諭等で、最も割合が多いのが、「授業準備」で、次に多いのが、「部活動指導」で「校務分掌」、「学級経営」と続く。
- ・ 小学校教諭等は中学校教諭等に比べ、「授業準備」、「学級経営」の割合が高い。
- ・ 男性教諭等で、最も割合が多いのが、「授業準備」で、次に「部活動指導」、続いて「校務分掌」「学級経営」が続く。女性教諭等では、「授業準備」の割合が多く42.9%を占める。「部活動指導」、「校務分掌」、「学級経営」は同程度の割合である。
- ・ 男性教諭等と女性教諭等を比べると、男性教諭等は「校務分掌」、「部活動指導」の割合が高く、女性教諭等は「授業準備」の割合が高い。



⑤ 年代別、男女別

※ 教諭等については、調査対象者数も多いことから、年代別、男女別の分析を行う。

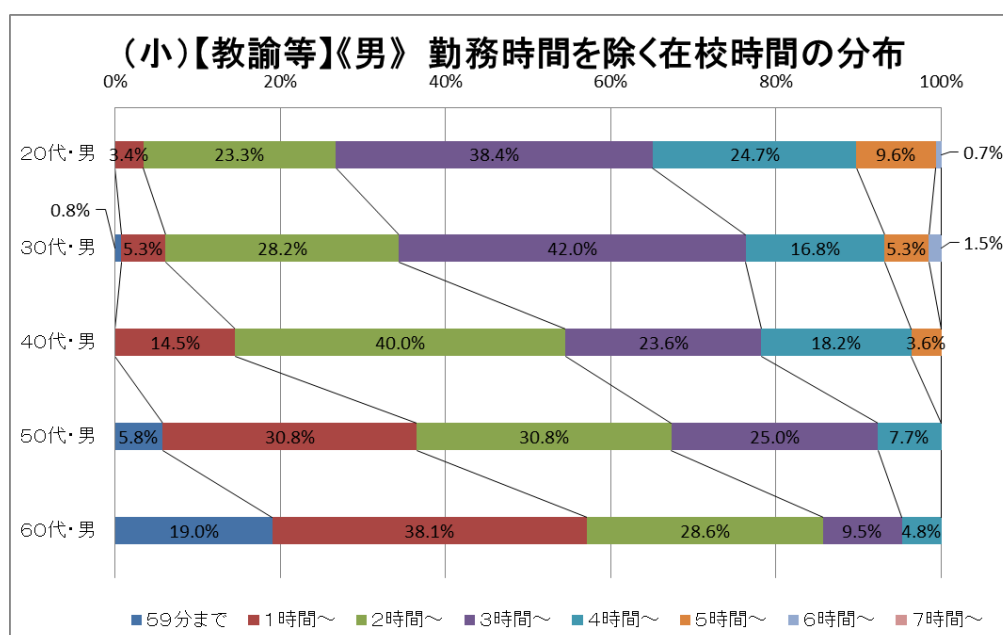
ア 調査対象者数

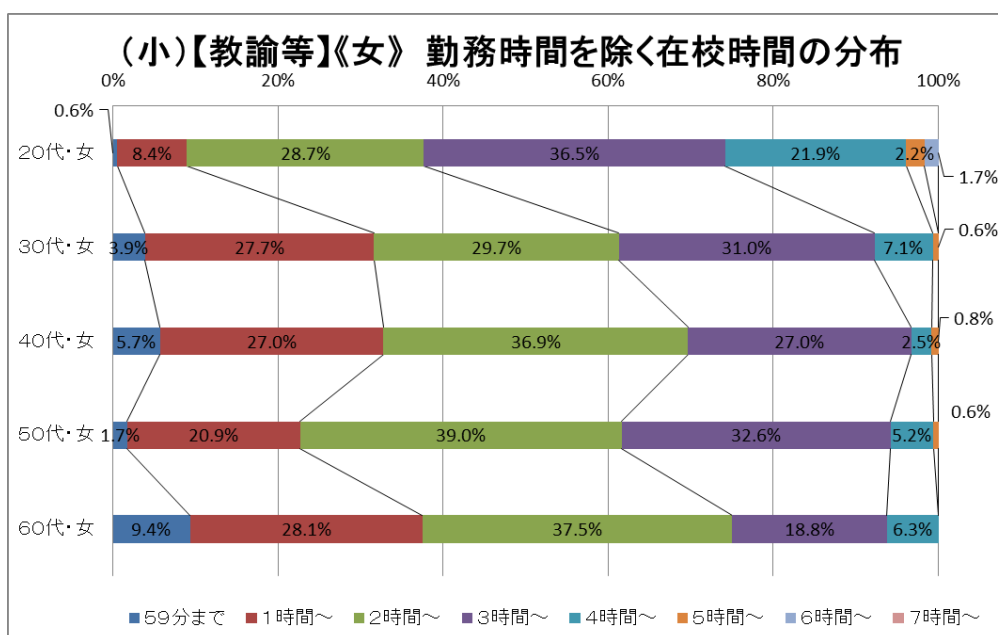
		20代	30代	40代	50代	60代	計
小学校	男	146	131	55	52	21	405
	女	178	155	122	172	32	659
中学校	男	265	221	66	209	60	821
	女	153	99	98	175	7	532

イ 年代別、男女別勤務時間を除く在校時間の分布

○ 小学校教諭等

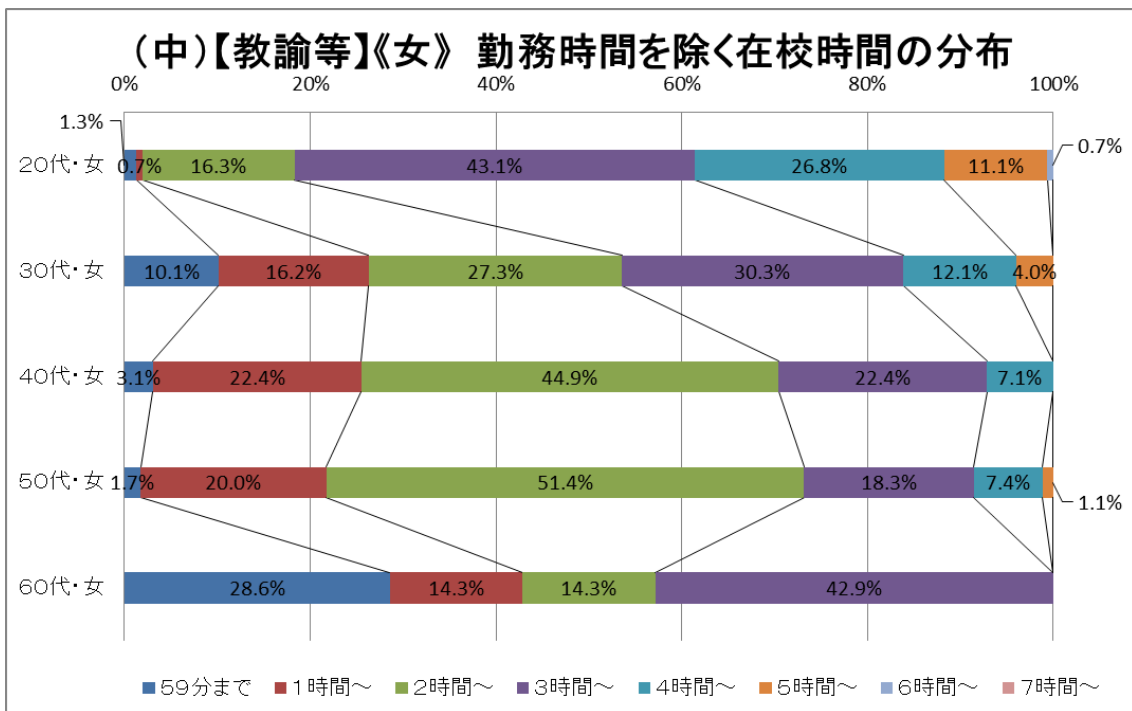
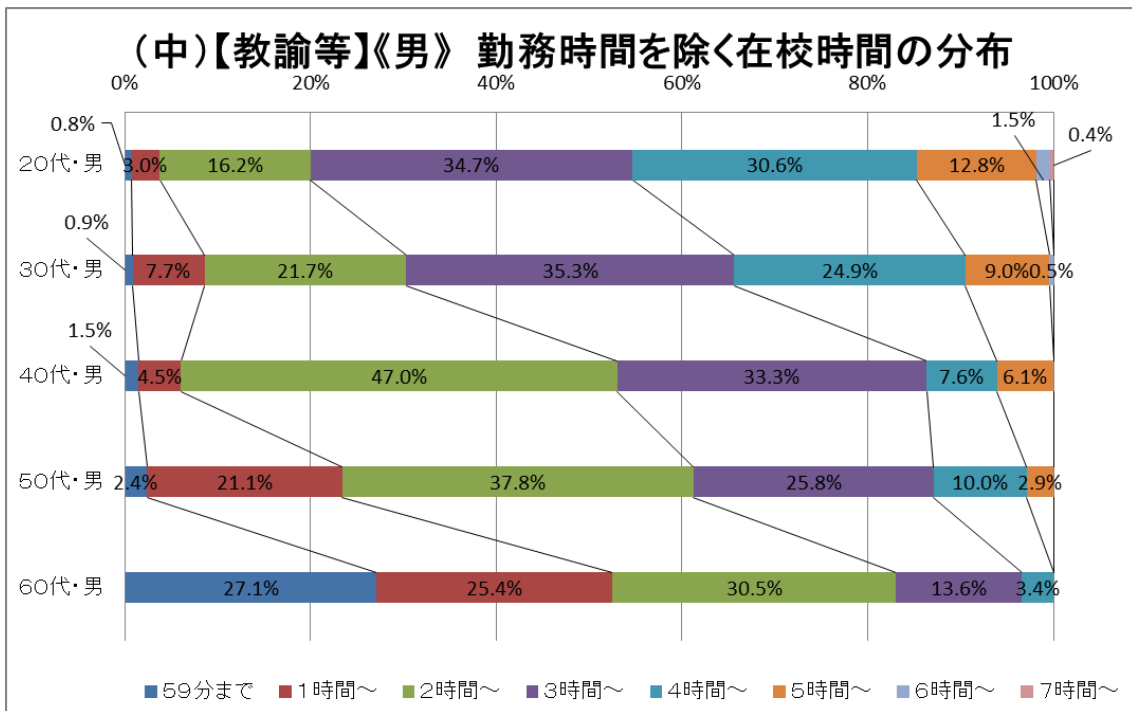
- ・ 男性教諭等は、全体的に年代が上がるにしたがって、勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。
- ・ 女性教諭等の「30代」は「20代」と比べると、勤務時間を除く在校時間の「59分まで」、「1時間～」の合計が、9%から31.6%に急に増える。
- ・ 女性教諭等は、「40代」までは年代が上がるにしたがって、勤務時間を除く在校時間が短くなっているが、「50代」になると、勤務時間を除く在校時間が長くなる。
- ・ 男性教諭等と女性教諭等を比べると、「20代」から「40代」まで2時間以上の勤務時間を除く在校時間は男性教諭等の方が割合が多いが、「50代」、「60代」になると女性教諭等の方が割合が多くなる。3時間以上においても同じ結果である。





○ 中学校教諭等

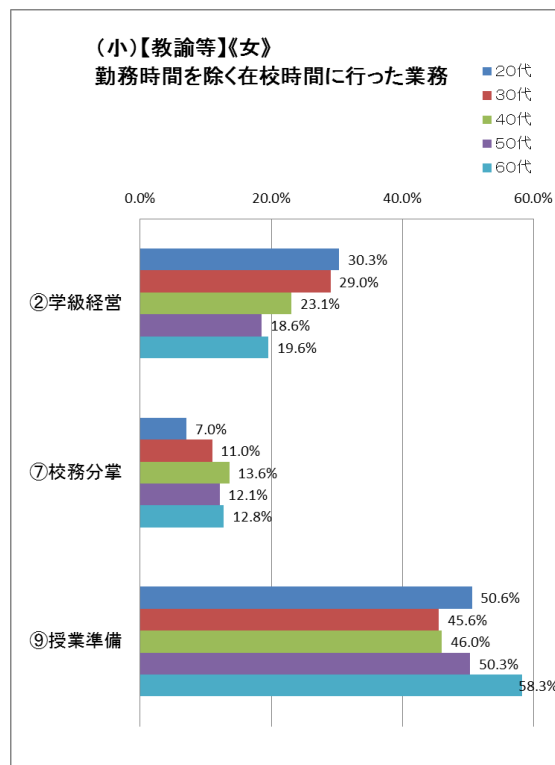
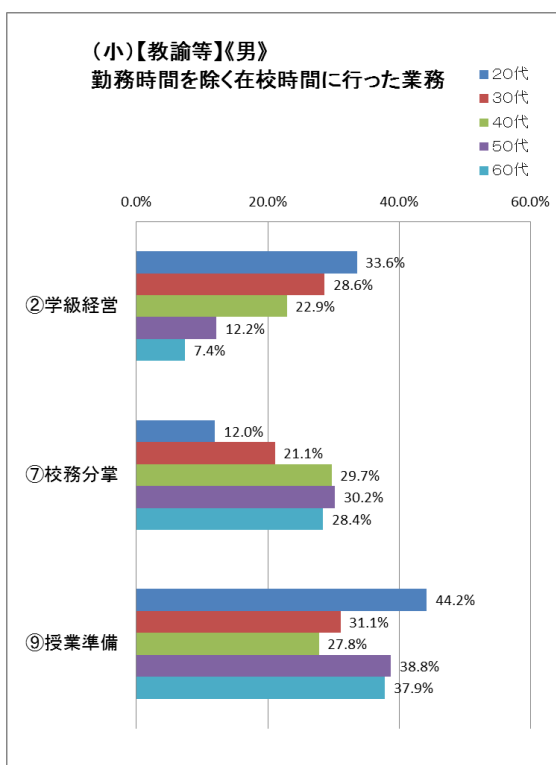
- ・ 男性教諭等は、全体的に年代が上がるにしたがって、勤務時間を除く在校時間が短くなっていく。
- ・ 女性教諭等の「30代」は「20代」と比べると、勤務時間を除く在校時間の「59分まで」、「1時間～」の合計が、2%から26.3%に急に増える。
- ・ 「40代」、「50代」になると、勤務時間を除く在校時間が長くなる。
- ・ 男性教諭等と女性教諭等を比べると、「20代」から「40代」まで2時間以上の勤務時間を除く在校時間は男性教諭等の方が割合が多いが、「50代」になると女性教諭等の方が割合が多くなる。



ウ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

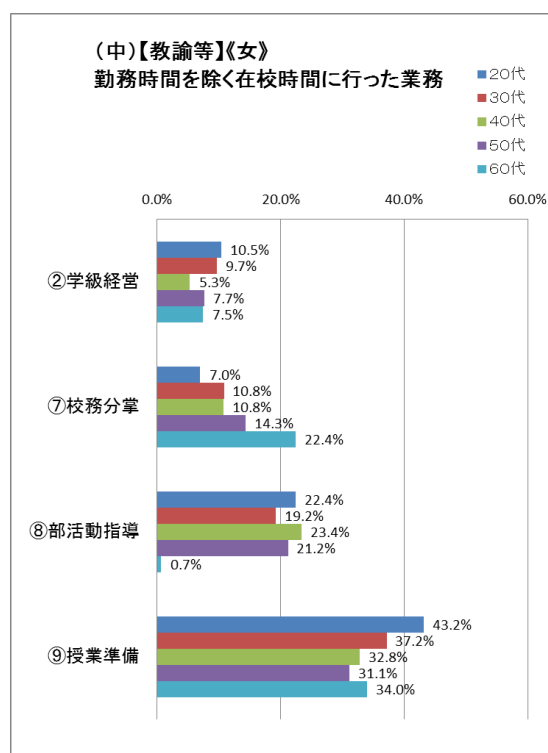
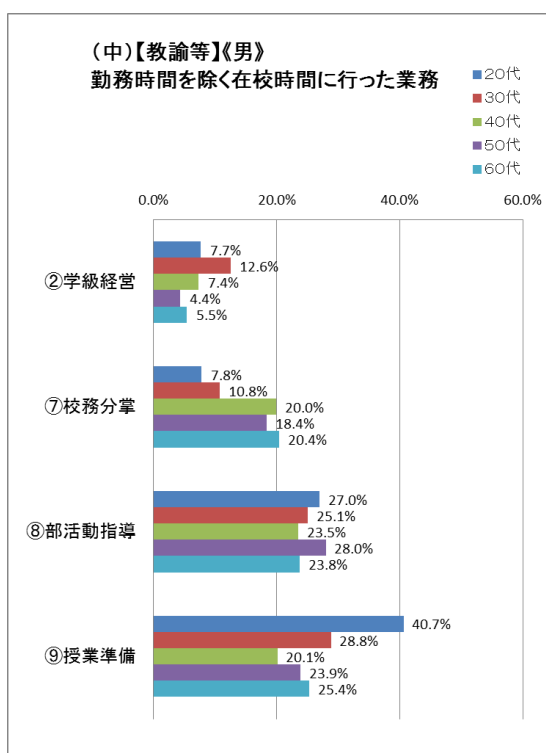
○ 小学校教諭等

- ・ 学級経営について、男性、女性ともに、全体的に年代が上がるにしたがって、割合が少なくなっていくが、男性の方が少なくなっていく割合が大きい。
- ・ 校務分掌について、女性は年代による大きな違いはないが、男性は「40代」まで、年代が上がるにしたがって、割合が大きくなる。また、男性は女性と比べて、全体的に校務分掌の割合が大きい。
- ・ 授業準備について、「20代」と「50代」、「60代」に割合が大きくなる二極化が見られる。また、女性は男性と比べて、全体的に授業準備の割合が大きい。



○ 中学校教諭等

- ・ 学級経営について、30代男性の割合が大きい以外、年代による大きな違いはない。
- ・ 校務分掌について、全体的に年代が上がるにしたがって、割合が大きくなっていく。
- ・ 部活動指導について、年代による大きな違いはない。
- ・ 授業準備について、男性については、20代の割合が大きい。20代男性は40代男性と比べると、約2倍、授業準備に時間を費やしている。



(5) 養護教諭等

① 調査対象者数

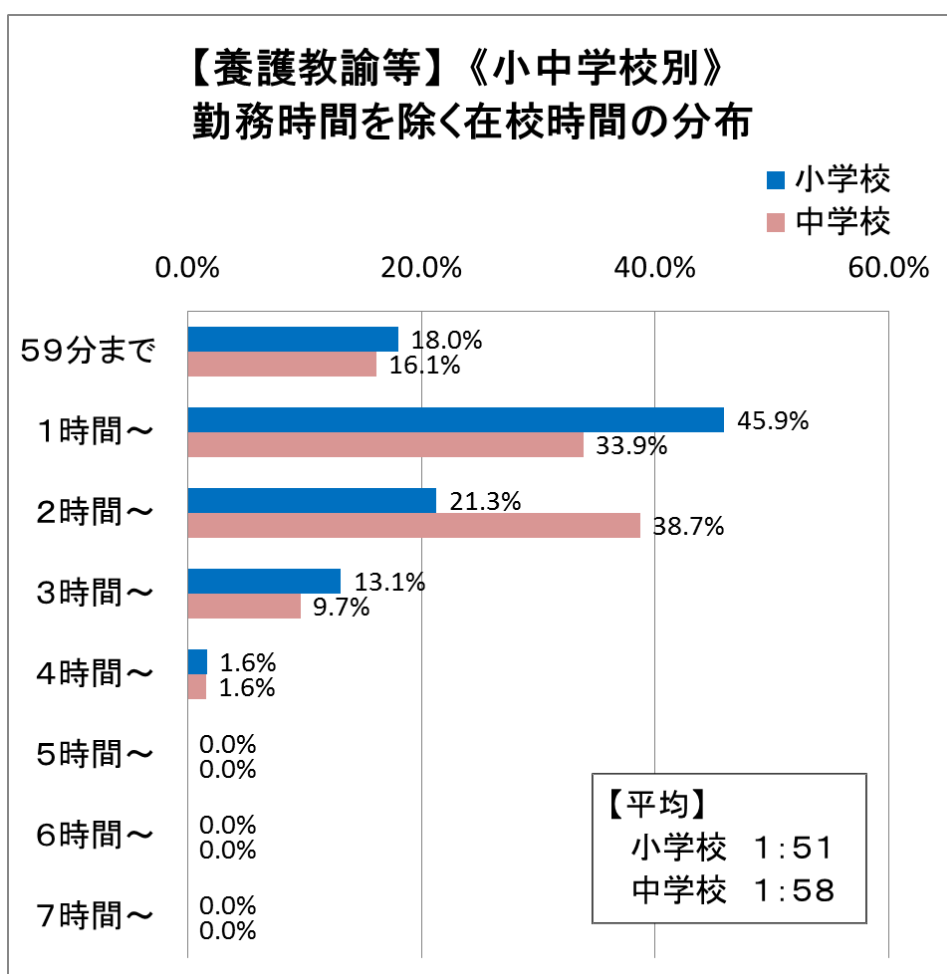
	男	女	計
小学校	0	61	61
中学校	0	62	62
計	0	123	123

② 男女比

- ・ 養護教諭等は100%女性である。

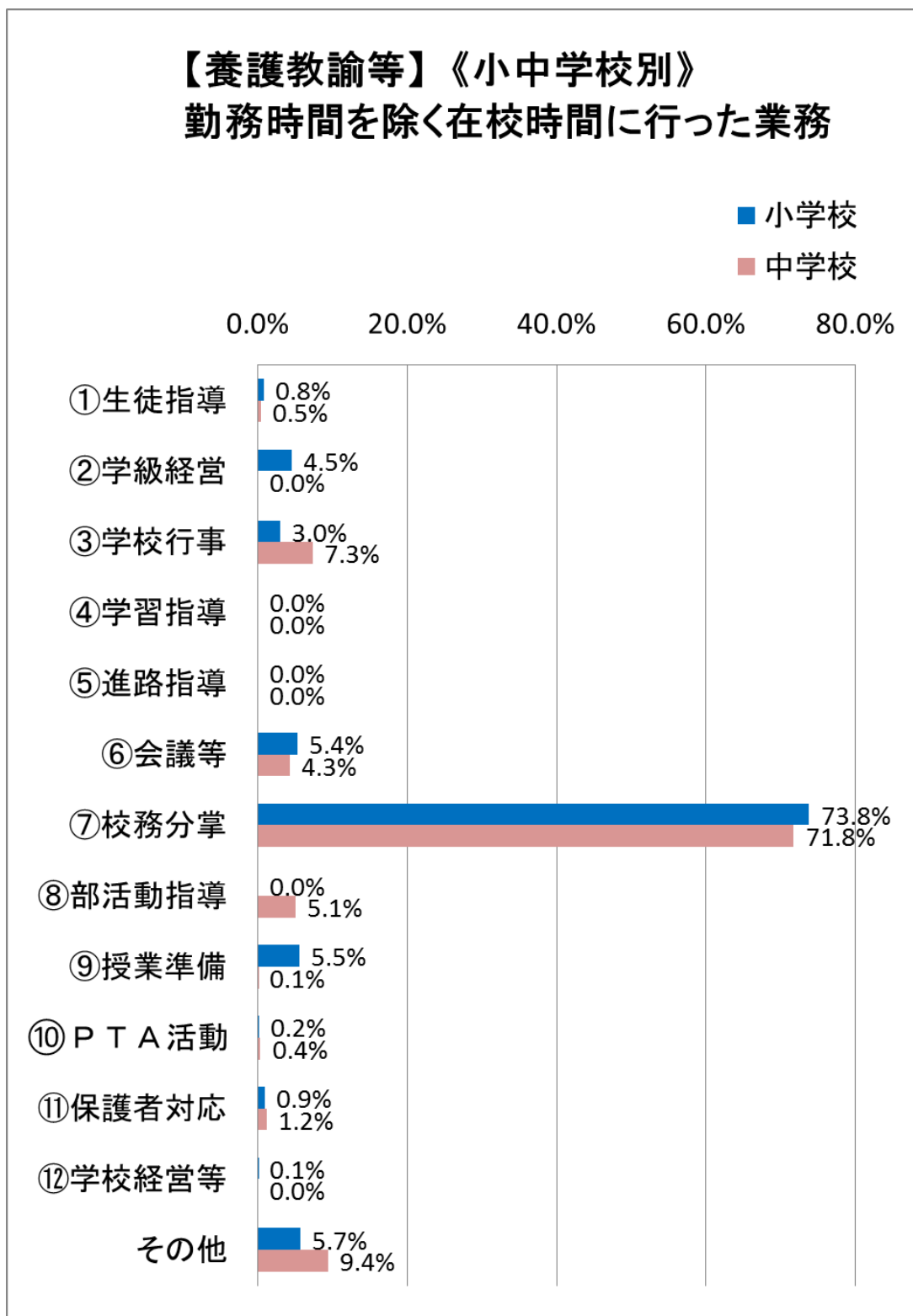
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校養護教諭等で、最も割合が多いのが、「1時間～」、次に多いのが、「2時間～」である。中学校養護教諭等で、最も割合が多いのが、「2時間～」、次に多いのが、「1時間～」である。
- ・ 校種別平均は、小学校養護教諭等が1時間51分、中学校養護教諭等が1時間58分であり、中学校養護教諭等は小学校養護教諭等より7分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校養護教諭等、中学校養護教諭等とも、業務に大きな違いはなく、最も割合が多いのが、「校務分掌」で、70%を超えている。



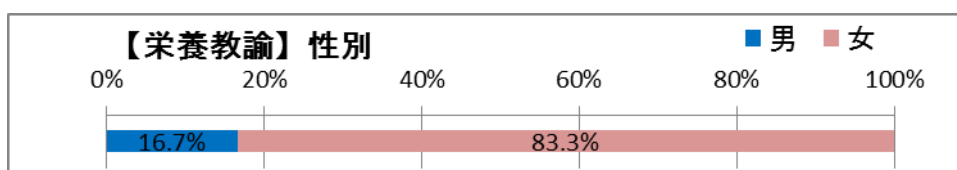
(6) 栄養教諭

① 調査対象者数

	男	女	計
小学校	2	11	13
中学校	2	9	11
計	4	20	24

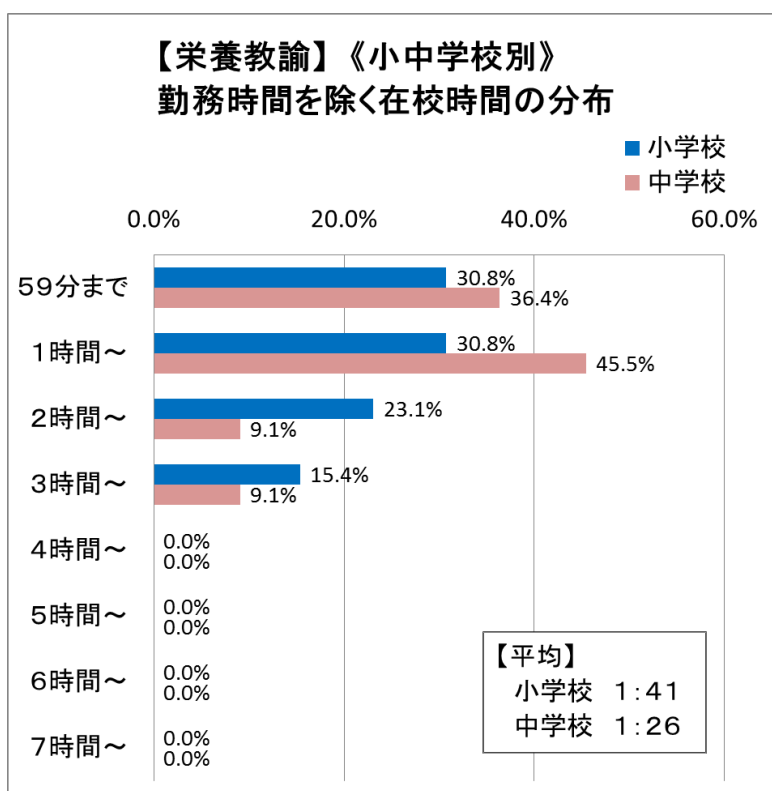
② 男女比

- ・ 栄養教諭の男女比は、男性16.7%、女性83.3%である。



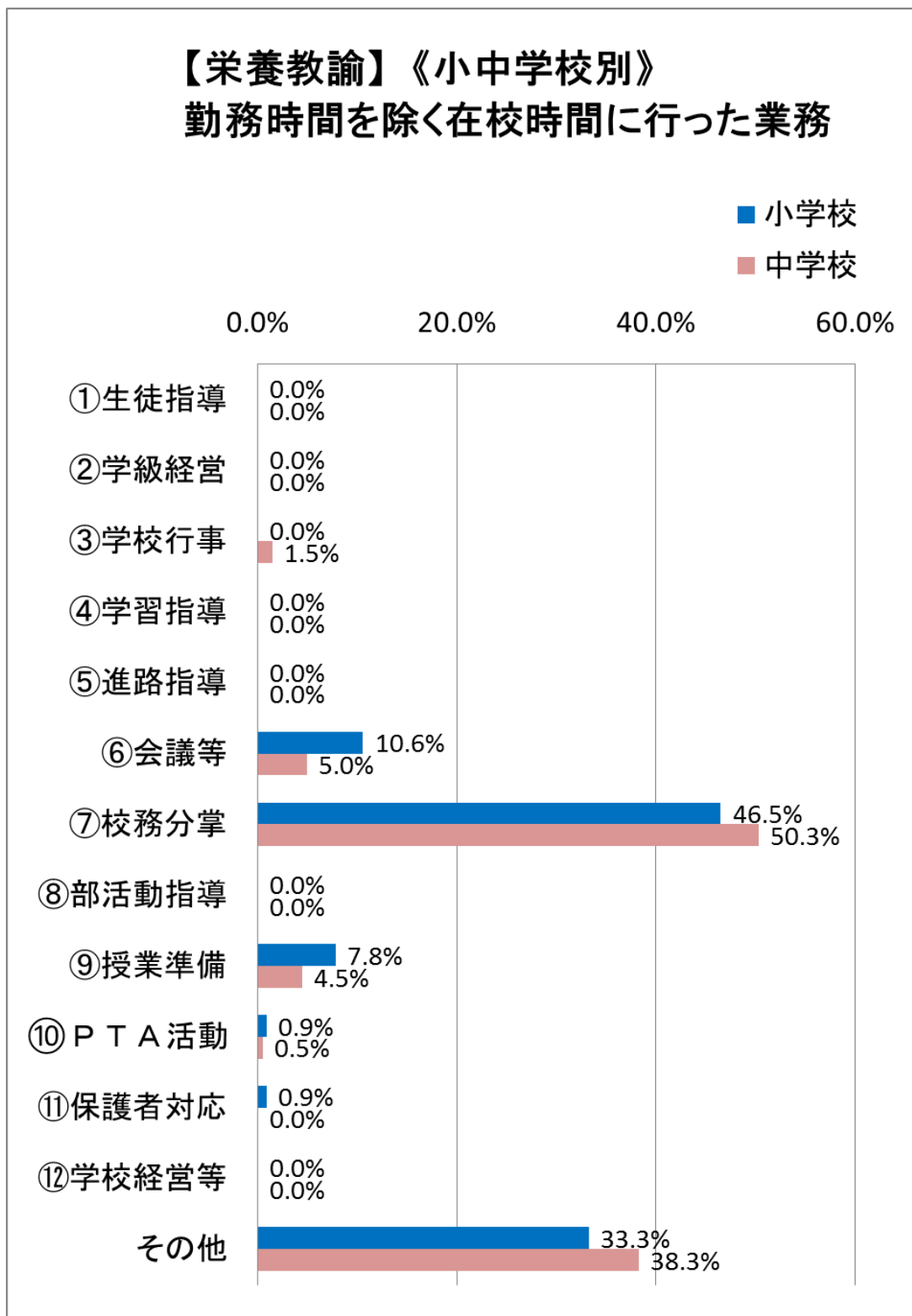
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校栄養教諭で、割合が多いのが、「59分まで」と「1時間～」である。中学校栄養教諭で、最も割合が多いのが、「1時間～」、次に多いのが、「59分まで」である。
- ・ 校種別平均は、小学校栄養教諭が1時間41分、中学校栄養教諭が1時間26分であり、小学校栄養教諭は中学校栄養教諭より15分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校栄養教諭、中学校栄養教諭とも、業務に違いはあまりなく、最も割合が多いのが、「校務分掌」である。

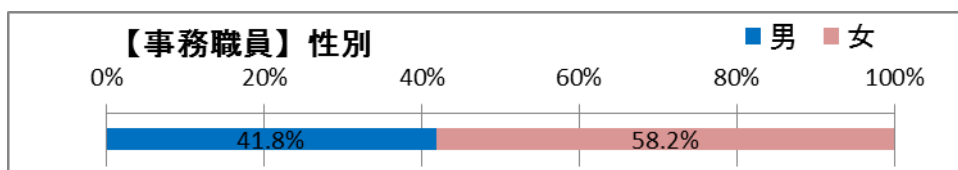


(7) 事務職員

	男	女	計
小学校	29	35	64
中学校	27	43	70
計	56	78	134

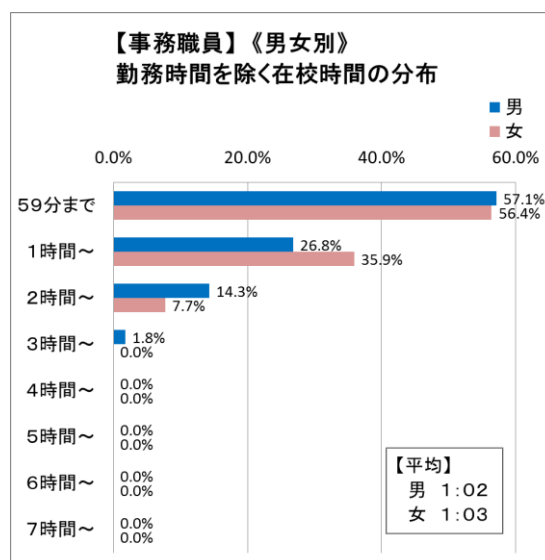
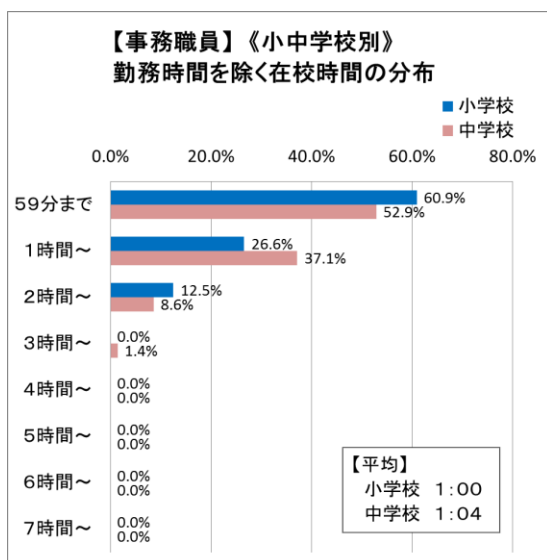
② 男女比

- 事務職員の男女比は、男性41.8%、女性58.2%である。



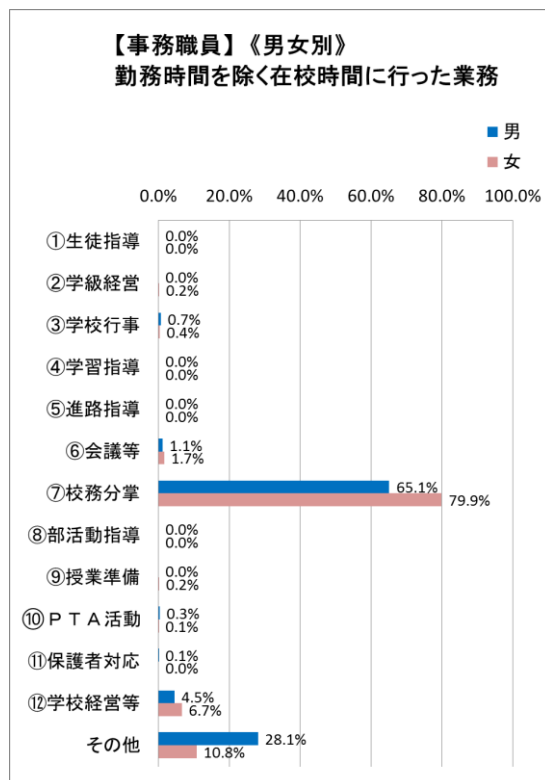
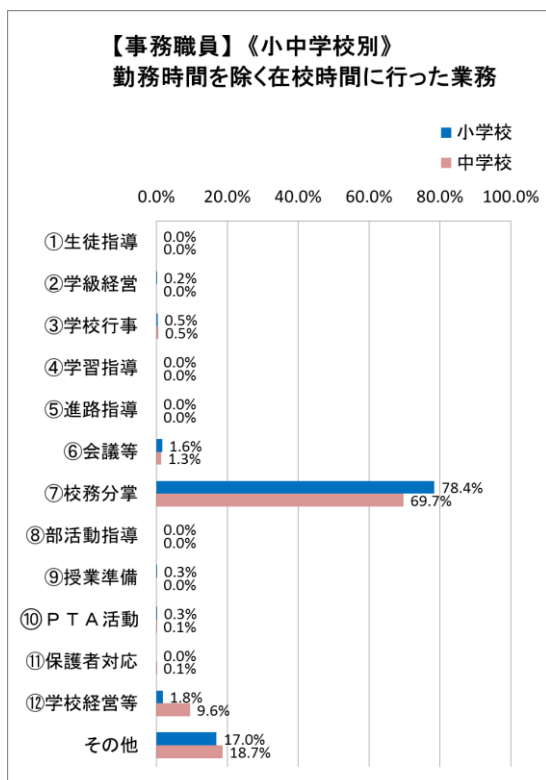
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- 小学校事務職員、中学校事務職員、男性事務職員、女性事務職員とも、最も割合が多いのが、「59分まで」、次に多いのが、「1時間～」である。
- 平均は、小学校事務職員が1時間0分、中学校事務職員が1時間4分、男性事務職員が1時間2分、女性事務職員が1時間3分で大きな違いは見られない。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校事務職員、中学校事務職員、男性事務職員、女性事務職員とも、最も割合が多いのが、「校務分掌」で70%程度である。
- ・ 中学校事務職員は、「学校経営等」が9.6%である。



(8) 学校栄養職員

① 調査対象者数

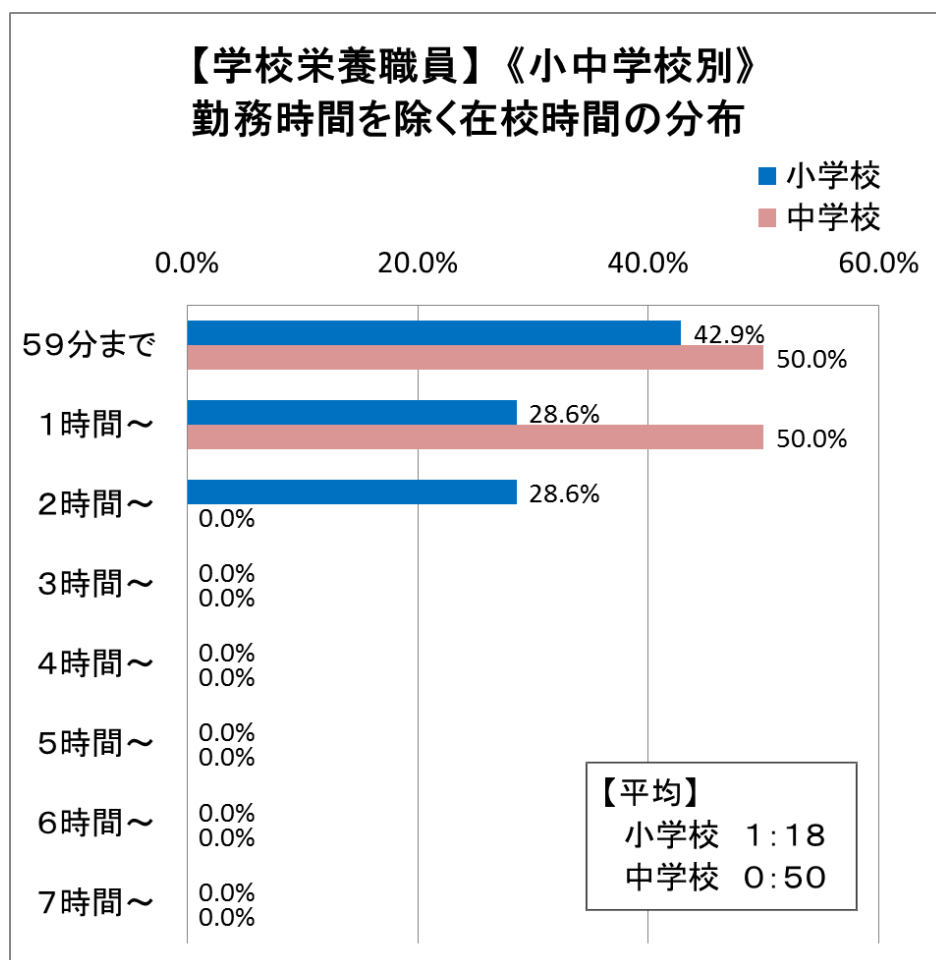
	男	女	計
小学校	0	7	7
中学校	0	4	4
計	0	11	11

② 男女比

- ・ 本調査における学校栄養職員は100%女性である。

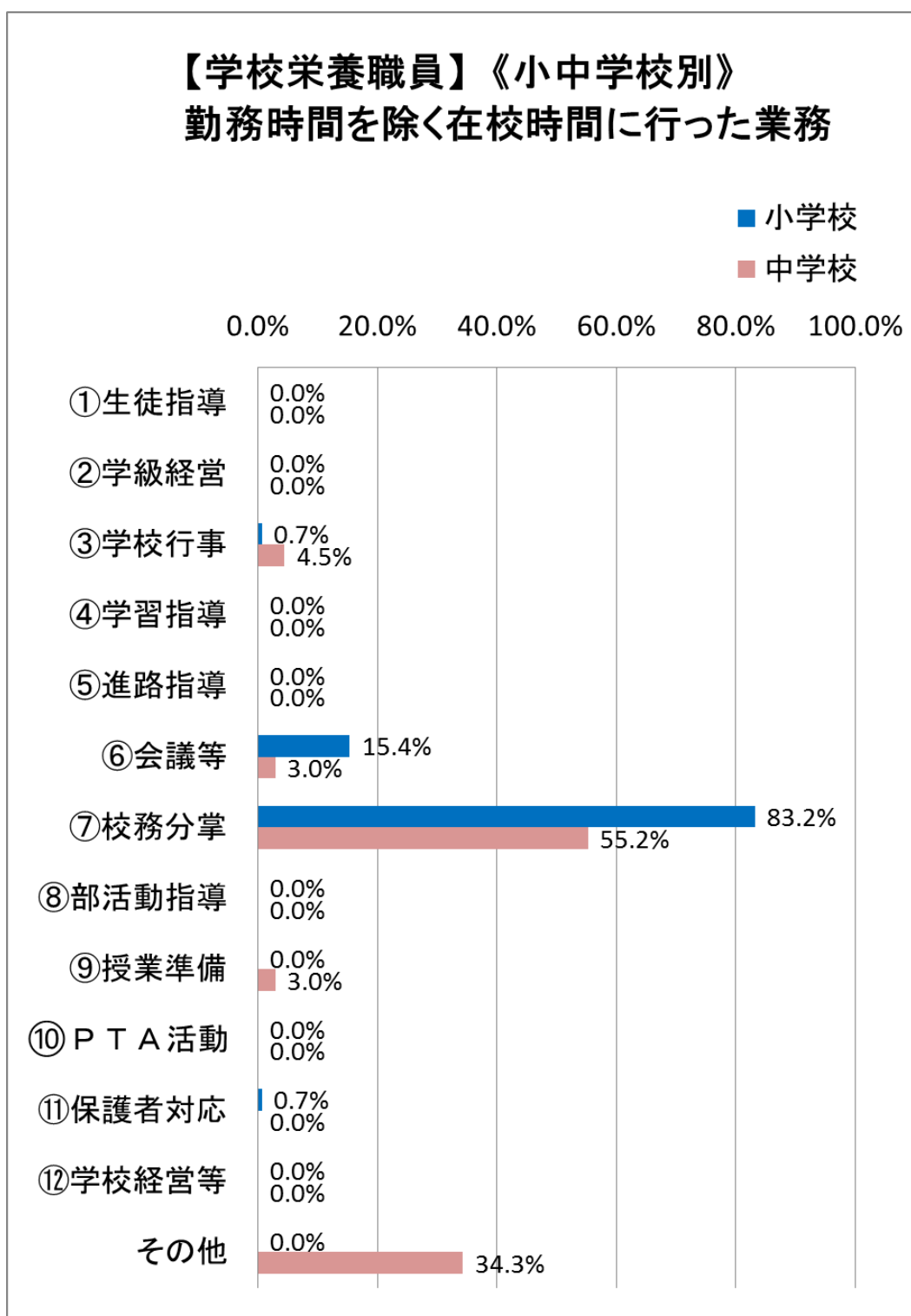
③ 勤務時間を除く在校時間の分布

- ・ 小学校学校栄養職員で、最も割合が多いのが、「59分まで」、次に多いのが、「1時間～」、「2時間～」である。中学校学校栄養職員で、「59分まで」と「1時間～」で、50%ずつである。
- ・ 校種別平均は、小学校学校栄養職員が1時間18分、中学校学校栄養職員が50分であり、中学校学校栄養職員は小学校学校栄養職員より28分長い。



④ 勤務時間を除く在校時間に行った業務

- ・ 小学校学校栄養職員で、最も割合が多いのが、「校務分掌」で、83.2%を占める。次に多いのが、「会議等」である。中学校主幹教諭で、最も割合が多いのが、「校務分掌」である。



5 おわりに

今回、教職員を対象とした勤務状況調査から、教職員の勤務時間を除く在校時間の傾向を明らかにした。その結果、勤務時間を除く在校時間の1日あたりの平均が、小学校では2時間48分、中学校では3時間2分となった。また、在校時間が長い職として、小中学校ともに、長い順に教頭、主幹教諭、教諭等、校長、養護教諭等、栄養教諭であった。勤務時間を除く在校時間に行った業務の割合が高かったのは、校長、教頭は、「学校経営、学校運営」であった。小学校教諭等は、「授業準備」、「学級経営」、「校務分掌」の順で、中学校教諭等は、「授業準備」、「部活動指導」、「校務分掌」の順であった。改めて、教職員が長時間在校している実態が明らかになった。

県では、これまで、各学校への調査・報告の見直しや削減、県主催の研修会や会議の精選を行うとともに、「ふれあいデー」の完全実施を図ってきた。また、市町村独自に検討委員会を設置し、各市町村の実態に合った負担軽減に取り組むよう働きかけてきた。

教職員の負担軽減に取り組むためには、各学校で教職員一人一人の勤務状況を把握されていることが前提となる。教職員の勤務時間の管理は、労働安全衛生の観点からも適切に行う必要があり、校長の重要な責務である。教職員一人一人の出退勤の客観的な記録として把握を行っている学校は増えてきているが、校長が教職員の一人一人の勤務状況を把握し、面談等で活用するなど、教職員の健康管理に留意することが大切である。

また、校長は、教職員の勤務状況の把握をもとに、校務分掌組織の在り方や会議の持ち方等の見直しなど業務改善を進めるとともに、教職員自身の働き方に対する意識改革を進めることが重要である。

市町村教育委員会及び各学校においては、本調査結果を活用し、教職員の負担軽減に積極的に取り組むことを期待する。